



令和4年度6月号 第1310号

土橋の子

日置市立土橋小学校

令和4年6月28日発行

元気に登校 笑顔で下校

校長 和田 義文

紫陽花の花がきれいな時期になりました。土橋の田んぼもあちこちで田植えが始まり、先日3～6年生は、中川の榕さんの御協力でも本年度も田植え経験をさせていただきました。6月も後半に入り、学校はもう夏休みまで一月をきりました。年度当初の忙しさから、学校本来の学習の充実に特に力を入れております。プールにも水が入り、水泳学習といきたいところでしたが、コロナの影響でまだ始められていない学年もあります。

さて、新しい学年にもすっかり慣れてきた頃ですが、子どもたちは、日々の生活の中で自分の思い通りにならないことにたくさん出会います。勉強のこと、遊びのこと、友だちとのこと、休みの日のことなど、様々なことに出会います。先日、5・6年生は、南薩少年自然の家で宿泊学習の体験をしました。いつもの生活と違う生活リズムであったり、団体に動かなければならない不自由さ・不便さであったり、他校の友だちと一緒に活動することでなかなか自分の思いを伝えられなかったりなど、これまでにない体験を二日間体験しました。いつも少人数で学習しているので、目に見えないプレッシャーや緊張感は、かなりのものがあったと思います。しかし、その中でも自分の居場所を確実に見つけ、その場を読み、自分なりの判断のもとでできることを確実にやってきました。学校代表としてあいさつする場面など、こんなときでしか経験できませんが、誰でも尻込みする中で堂々と、しかも下書き等もなく発表できる子どもたちの姿があったそうです。残念ながら私は一緒に活動することができませんでしたが、帰ってきた担任の田原先生や坂口先生、教頭先生から活動の様子を聞き、体験を通じて様々なことを学び、その場その場に応じた動きができるように成長してくれたことに喜びを感じました。子どもたちは、学習や遊びの中で困っているとき、日々の体験からどうしたらよいのか、我慢して譲り合ったり、あきらめず頑張ったり、時には折り合いをつけるために話し合ったりと、そんな社会性を身につけていきます。

学校から帰った子どもたちはどんな話をしてきたでしょう。その日の中で一番心を動かされたことをきくと話しかけてきたと思います。それが成長の証です。いいことばかりではありません。不満たっぷりのこともあるでしょう。でも、その後どうするか、その子なりの考えや行動を是非見守っていきましょう。親として大人としての考えや行動をすぐに教えるのではなく、その子のこれまでの生活体験の中から導かれる行動を見てあげてください。さらなる成長が必ずそこにあります。

学校生活を楽しみに元気に登校し、満足して笑顔で下校する子どもたちの姿が、毎日見ることができるようこれからも学校の責務を果たしてまいりたいと思います。大人の連携も子どもたちに負けないようしっかりと取っていききたいと思います。学校に聞きたいことやご相談、様々な情報等、いつでもお寄せください。よろしくお願いたします。

春の一日遠足

5月20日（金）に、1～4年生はかごしま水族館へ行きました。黒潮大水槽の迫力、イルカのジャンプのダイナミックさ、イワシの大群のなめらかな動きに子どもたちは見入っていました。

途中から雨が降り出したため、水族館見学のあとは学校に戻り、体育館で昼食やレクリエーションを楽しみました。普段と違う過ごし方に、子どもたちは笑顔いっぱいでした。



幼稚園の子どもたちは、飯牟礼幼稚園のお友達と一緒に、江口蓬莱館へ行きました。蓬莱館でいろんな魚を見たり、近くの海岸で貝殻を拾ったりして、楽しい時間を過ごしました。遠足を通して、先生やお友達とより仲良くなることができた一日遠足でした。



保護者の皆様、お弁当の準備など、御協力ありがとうございました。

読書集会

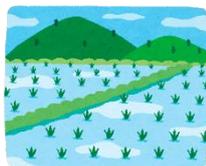
6月1日（水）の3校時に、むぎばたけのお話会の皆さんが読み聞かせに来てくださいました。紙芝居や大型絵本、エプロンシアター、パネルシアターなど、子どもたちの興味を引き付ける工夫がたくさんあり、子どもたちは物語の世界を存分に楽しみながら、読書への意欲を高めることにつながった読書集会でした。



田植え学習

6月8日（水）に、3～6年生が田植え学習を行いました。みんなで一列に並び、ロープに付けている目印に合わせて苗を植えました。

歩き慣れない田んぼの中を、転ばないように気を付けながら、みんなで協力して一つ一つ丁寧に植えました。収穫までの間は、地域の方の御協力をいただきます。感謝の気持ちとともに、稲の生長を楽しみにしている子どもたちです。



原子力災害を想定した引き渡し訓練



6月10日(土)に、原子力災害を想定し、保護者への児童の引き渡し訓練を行いました。今年度も、安心安全メールによるお知らせのあと、児童玄関前に車を寄せて引き渡しを行う方法で実施しました。保護者の皆様には「校内一方通行」や「徐行運転」のお願いにも御協力いただき、安全に、スムーズに行うことができたのではないかと思います。非常時こそ、慌てず、落ち着いて行動することが大切です。御家庭でも、登下校中や外で遊んでいるときなどに事故が起こった場合などの行動について、話題にしてみてください。

集 団 宿 泊 学 習

6月15日(水)～16日(木)の一泊二日、5・6年生13人は南薩少年自然の家で集団宿泊学習を行いました。様々な生き物の鳴き声や木々の揺れる音、木陰の涼しさ、松ぼっくりや杉の葉など自然豊かな環境のもと、テント設営や野外炊飯、キャンプファイヤーなど、友達と協力して取り組む活動を通して、自分の役割を最後まで果たすことの大切さ、友達のよさなどを学ぶことができました。また、不便な生活を経験することで、日常の「当たり前」のありがたさや、家族への感謝の気持ちを感じる機会となりました。



テント設営



野外炊飯



おいしく食べる様子



キャンプファイヤー



レクリエーション



アドベンチャーラリー



さまざまな学習支援



理科観察実験アシスタントとして田中文彦先生が、学習指導アシスタント(TA)として鹿児島大学教育学部4年生の西郷桃加さんが土橋小に来てくださいます。田中先生は、年間16回、3年生以上の理科の指導に、西郷さんは年間10回、複式学級を中心に、いろんな活動の指導に関わっていただく予定です。

ポール先生ありがとうございました



5月24日（火）はALTのポール先生との最後の授業となりました。ポール先生のおかげで、多くの子どもたちが楽しみながら英語に親しむことができました。ありがとうございました。

1学期間はALTの先生は不在となりますので、御理解ください。

小中一貫教育研修会

6月13日（月）に、土橋小、土橋中の職員合同で小中一貫教育研修会を行いました。まず自己紹介のあとグループワークトレーニングを行い、小中の職員のコミュニケーションを深めました。その後、「知」「徳」「体」の3つのグループごとに、小中の9年間で児童生徒に身に付けさせたい資質について意見を出し合いました。今後、出された意見をもとに、さらに小中の連携を取りながら研修を深め、土橋の子どもたちのために学校が出来ることを考えていきたいと思えます。



新型コロナウイルス感染症対策の徹底を!

油断は禁物です。引き続き、検温や手指消毒、こまめな手洗い・うがい、マスクの着用、人と人との距離の確保、三密を避けるなど、感染防止対策を徹底して下さるようお願いいたします。少しの異変でも病院受診をお願いいたします。



【お知らせ】

先月発行した学校だより5月号の学校運営協議会の出席者の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤→新山 美由紀さん



7月の行事予定

- 1日（金） 交通事故防止強化月間（～7/31）
スクールゾーン委員会
- 9日（土） 土曜授業
- 11日（月） 巡回図書（返却のみ）
- 20日（水） 1学期終業式
- 26日（火） 日置市子ども議会

